

1 学校経営計画

【教育目標】 豊かな心と確かな学力を身に付け、心身ともにたくましく生きる児童の育成<中学校区統一教育目標>

【学校経営に込める思い】 子どもに夢を！ 保護者に安心を！ 地域に誇りを！ 教職員の笑顔をもとに
※すべての子どもに（ ）内の思いを！

- 子ども同士の関係があたたかい → (仲間といるから楽しい)
- 子どもと教職員の関係があたたかい → (先生といるから安心できる)
- 教職員同士の関係があたたかい → (すべての先生が関わってくれる)
- 学校と家庭・地域の関係があたたかい → (家族や地域の方から見守られている)

【めざす学校像】 ○人権尊重の精神と生命に対する畏敬の念を育み、心の居場所となる笑顔あふれる学校（徳育） ○学習指導要領に即し、地域社会に開かれた教育課程の実現により働き方（効果の出し方）改革を図る学校（知育） ○コミュニティ・スクールの強みを活かし、保護者や地域と連携・協働して子どもを育てる学校（体育）	【めざす児童像】 ○自分の大切さとともに相手を大切に思う豊かな心を持った児童（徳育） ○課題の解決に向け、仲間とともに主体的・対話的に深く学ぶ児童（知育） ○自ら心身の健康保持増進に努める資質や能力を持った児童（体育）	【めざす教師像】 ○教育的愛情と人権感覚にあふれ子どもとふれあう教職員（徳育） ○常に新しい知識・情報・技能を求め、自らの資質向上を図り続ける教職員（知育） ○自らの心身の健康に留意し、笑顔を絶やさない教職員（体育）
---	---	--

【伊倉小児童につけたい力】
○**協力する力**：身近な課題を解決するために、地域や仲間と協働し、主体的に関わる力（協働力）
○**思いやる力**：身近な課題に気付き、自己や集団をよりよくするために、解決方法を話し合い、合意形成、意思決定する力（共感力）
○**学び合う力**：課題解決のために、多様な他者と協働する意義や必要となることについて理解し、自己や集団をよりよくするための話し合いや提案をする力（思考力）

シン・伊倉ブランド ①語先後礼の学校一礼 ②はっきり歯切れよく あいさつ・返事
③整えます 言葉、姿勢、足元、身なり ④無音を目指す 歩行、集合、掃除

【重点目標と実践事項】		【成果指標】
心づくり	(1) 人権教育の充実 ○児童・教職員の適正な言語環境の推進 (2) 道徳的实践力の向上 ○「特別の教科 道徳」授業の充実 (3) 生徒指導の充実 ○安全・安心な学級・学校集団づくりの推進 ○家庭・関係機関と連携した基本的生活習慣の育成	○学校生活に肯定的回答割合【心】93%以上 ○自己有用感の回答割合【心】93%以上
学びづくり	(1) 学習規律の徹底 ○話す・聞くなどの基本的な学習訓練の徹底 ○学習環境（ひと、もの、こと）の整備 (2) 熊本の学びの推進 ○学びを深める授業改善の推進 ○ICT 活用指導能力の向上と校内研究の日常化 (3) 自主的学習の充実 ○家庭学習の充実（授業との連携） ○読書活動の推進	○学習態度に肯定的回答割合【学】70%以上 ○学習内容理解の回答割合【心】92%以上 ○県市学調結果で全国平均を上回る教科数【県】12/20 教科 ○家庭学習の習慣回答割合【学】85%以上
健康づくり	(1) 健康・安全教育の推進 ○健康・安全教育の充実と危険予測能力の育成 ○家庭と連携したメディアコントロール力の育成 (2) 体力の向上 ○体育科授業、体育的行事等の充実 (3) 食に関する指導の充実 ○給食指導等による望ましい食習慣の形成	○交通安全指導の徹底 重大交通事故 0 ○メディアコントロールができる割合【学】58%以上 ○早寝・早起き・朝ご飯ができる割合【学】80%以上

教育環境（ひと・もの・こと）の整備と充実	【成果指標】
(1) 地域とともにある学校 ○家庭・地域・関係機関・中学校区の学校と連携した教育活動の推進（150周年記念に向けた連携） (2) 特別支援教育の充実 ○一人一人の教育的ニーズを踏まえた適切な指導と必要な支援の充実 (3) 教室等環境の整備 ○校舎内外の安全管理の徹底 ○教室設営や校内掲示の充実 (4) 教職員の資質向上 ○「くまもとの教職員像」の具体化 ○不祥事の根絶 ○働き方改革の推進	○関係機関・専門家等の活用 新規不登校児 0 ○不祥事の根絶 不祥事（懲戒処分指針の非違行為） 0

